



平成28年2月18日 第23号
豊高はあなたの未来づくりをサポートします。

感想

- ・理解できない部分もあり緊張していたので質問できなかったけど、ハイレベルな雰囲気に触れたことで2年生からの課題研究に向けて意欲がより一層増しました。(1年男子)
- ・自分たちの発表を他の方に聞いてもらえたことで私たちの発表の欠点や不足部分、さらに発展させていくべき点がたくさん分かってとても良かった。(2年女子)



SSH 兵庫「咲いてく」プログラム サイエンスフェア

1月31日(日)、神戸国際展示場にて第8回サイエンスフェア in 兵庫が開催されました。この催しは、兵庫県内の高校生や大学生、企業などが日頃行っている研究の成果を発表するもので、本校からは1年5H、2年5Hの理科の生徒が参加しました。

会場では、兵庫県内の高校生が研究の成果を口頭発表やポスターセッション形式で発表しました。本校からは、2年5Hの生徒が発表しました。生徒それぞれが、研究の成果を発表し、また質問やアドバイスを受けることで、自らの研究を深める良い機会となりました。

課題研究Ⅱ発表会

2月16日(火)、和魂百年館にて、「課題研究Ⅱ発表会」を開催しました。これは本校理科の「課題研究」の授業の成果を発表するもので、2月6日(土)に行われた校内選考会で11グループの中から選ばれた4グループと海外研修参加者の計5グループが発表しました。

科学技術振興機構主任調査員と、4名の運営指導委員(大学教授等)、本校2年普通科理系生徒、近隣他校の生徒、先生方の前で発表となりました。

生徒たちは、各自が探究心と想像力を持って進めてきた研究の成果を発表しました。全5組の発表でしたが、どのグループも自分たちの研究内容を分かりやすく伝え、また、活発な質疑応答の中で質問にも的確に答えました。

ご来校いただいた皆様、ありがとうございました。

感想

- ・発表するときに今までは質問されるのがすごく嫌だったけど、今回はもっといろんな質問に答えてみたいと思った。(理数科2年女子)
- ・どの班も仮説を立てて研究をしていて、とても同じ2年生とは思えなかった。自分で1つのことを深く考えていくことが大切だと感じた。(普通科2年女子)



1年間の研究の成果を発表しました。また、時間が足りないくらい質疑応答が活発に行われました。



百年館2階では、サイエンスツアーや地域巡検のポスター展示を行いました。

但馬地区百人一首交流大会

1月26日(火)に八鹿高校格技場において、豊岡・八鹿・出石・香住の4校から選ばれた代表生徒が集まり、但馬地区百人一首交流大会が行われました。本校からは2年生3名、1年生2名が代表として臨みました。

トーナメント形式での1回戦は出石高校相手に見事5・0で勝利、決勝は出石高校相手に決勝では八鹿高校に惜しくも1・4で敗れたものの、両者譲らぬ白熱した試合は場内を沸かせました。他校との交流も深め、有意義な時間となりました。



結果は準優勝と大健闘しました！

サイエンスリサーチ特別講義

2月3日(水)7校時、理数科1年生を対象に兵庫県立大学大学院 松原典孝 助教をお招きし、サイエンスリサーチ特別講義を行いました。演題は「ポスター発表を上手にするために必要なこと」です。

見やすいポスターの作り方や聴衆を惹きつけるための発表方法などを教えていただき、生徒は熱心に聞いていました。これから作成する課題研究やサイエンスツアーのポスターがよいものになることを期待しています。

